

日本で初となる「アジア地域セーフコミュニティ会議」が開催 ～東京初のセーフコミュニティ国際認証取得～

本日から 30 日まで、地域社会の安全・安心の向上に向けた取り組みを海外の専門家を交えて議論する国際会議「第 6 回アジア地域セーフコミュニティ会議」が豊島区で開催されている。日本国内での開催は初めて。海外より 22 か国 160 名、国内他都市からも 100 名が参加する。

本日は東京芸術劇場でセーフコミュニティ会議の開会式にあわせて、豊島区セーフコミュニティ認証式が執り行われた。豊島区は、平成 22 年 2 月より、区制施行 80 周年を迎えた本年に、WHO（世界保健機関）セーフコミュニティ協働センターが推進するセーフコミュニティの認証取得を目指し取り組んできた。セーフコミュニティとは、「けがや事故等は、決して偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防できる」という考え方のもと、地域のコミュニティや絆を広げながら、生活の安全と健康の質を高めていくまちづくり活動。同協働センターでは、一定の基準を満たし、将来にわたって予防活動を継続していく能力を持つ都市を「セーフコミュニティ」として認証している。

豊島区は、東京では初、日本全国でも 5 都市目の認証となる。全世界では 296 都市目の認証となる。

式典では、同協働センター代表のレイフ・スヴァンストローム氏が「セーフコミュニティの歴史と展望」と題した記念講演を行った。その後、2,000 名を超える参加者の前で、同氏からセーフコミュニティの認証盾が高野之夫豊島区長に授与され、豊島区が正式にセーフコミュニティのメンバーの一員となった。さらに、より安全な教育環境づくりに取り組む学校に与えられる国際認証のインターナショナルセーフスクールの認証を昨日受けた朋有小学校の 5・6 年生による認証報告も行われた。本区のような高密都市におけるインターナショナルセーフスクールとセーフコミュニティのダブル受賞は画期的なこと。式典には樋口建史警視総監も訪れ、セーフコミュニティ活動への期待を込めた祝辞が述べられた。

高野区長は「セーフコミュニティの一員に迎えられることは誇りであり、今後のさらなる安全・安心なまちづくりの原動力になる」と認証取得の喜びを語った。

また、今回の認証取得にあわせ、豊島区は台湾台北市文山区（ウェンシャンク）とセーフコミュニティ友好都市協定を締結する。同区もセーフコミュニティの認証を受けており、豊島区はセーフコミュニティの認証取得への取り組みの際に同区を区民とともに視察している。また、本年 9 月には同区関係者も豊島区を訪れ、セーフコミュニティを介した交流を進めてきた。協定では、「友好関係のもと安全なまちづくりに取り組み、セーフコミュニティ活動を国内外に広めていく。」としている。本日、午後 6 時 30 分から催されるアジア会議歓迎祝賀会で友好都市協定が締結される。

29 日、30 日は、会場をサンシャインシティ・カンファレンスルームに移し、基調講演や総勢 100 名が発表を行う分科会が開催される。分科会は「学校の安全」、「子どもの安全」、「交通の安全」などの 11 テーマで行われ、豊島区からは 12 名、うち 9 名が実際に地域で活動している区民の方が発表する。さらに、セーフコミュニティセミナー、セーフスクールセミナーも開催され、安全なまちづくりに向けて地域力を高めるための議論が分野を超えて繰り広げられる。

日 時	平成 24 年 11 月 28 日（水曜日）14:00～15:40（アジア地域セーフコミュニティ会議 開会式）	
場 所	東京芸術劇場（西池袋 1-8-1）	
主 催	豊島区、長野県箕輪町、長野県小諸市、豊島区セーフコミュニティ推進協議会ほか	
写 真 *写真はメ ールで送り ます	<p>レイフ氏（右）より認証盾を受け取る高野区長</p> 	<p>高野区長、レイフ氏を中心に認証取得を喜ぶ関係者たち</p> 
問 合 せ	セーフコミュニティ推進室	

第6回アジア地域セーフコミュニティ会議 in 豊島 トラベリングセミナー in 箕輪町・小諸市

安全なまちづくりに向けて地域の力を高めよう！

～日常生活の安全から災害時の対応まで～

◆国際会議

2012年11月28日～11月30日

東京都豊島区・池袋

東京芸術劇場、サンシャインシティ

参加費 24,000円(予定)

2012

◆トラベリングセミナー

2012年11月30日～12月2日

長野県箕輪町、小諸市

参加費 30,000円(予定)

詳細については
ウェブサイトを
ご覧ください

<http://www.arcsc2012.com>



豊島区、箕輪町、小諸市は、WHOセーフコミュニティ協働センターによる、安全・安心まちづくりの世界認証制度「セーフコミュニティ」の認証取得を目指し、国内・海外の都市との連携を深めつつ、活動を進めています。



国際会議及びトラベリングセミナーでは…

安全で安心して生活できるまちを目指して、日々活動・研究に取り組む皆さんとともに、幅広い知識・経験を共有し、交流し、世界に発信する機会を提供します。

- 経験豊かな専門家による基調講演
- アジアを中心とした海外のコミュニティとの交流
- 安全なまちづくり、けがや事故の予防に取り組む実践者・研究者による多様な報告

皆様のご報告及びご参加をお待ちしています！

- 報告登録 2012年2月1日～6月15日
- 参加申込 早期割引 2012年2月1日～7月15日
- その他 2012年2月1日～9月30日



主催：第6回アジア地域セーフコミュニティ会議実行委員会

(東京都豊島区・長野県箕輪町・長野県小諸市及び各セーフコミュニティ推進協議会)

プログラム ※詳細については、事情により変更になる場合があります。

	11月28日	11月29日	11月30日	12月1日	12月2日
午前	11月27日午後～ 参加登録	・基調講演 ・分科会 (口頭報告)	・分科会 ・ポスター報告 ・交流会 ・閉会式、昼食会	・箕輪町 トラベリング セミナー (現地視察)	・小諸市 トラベリング セミナー (現地視察)
午後	【国際会議】 ・開会式 ・記念講演、基調講演 ・豊島区 セーフコミュニティ 認証式典 ・夕食会	・ポスター報告 ・セミナー ・セーフコミュニティ 交流会	【トラベリング セミナー】 バス移動 ↓ ↓ ↓ [箕輪町] 歓迎会	バス移動 ↓ ↓ ↓ [小諸市] セーフコミュニティ 認証式典	バス移動 ↓ ↓ ↓ [東京] 解散

◆国際会議の主なテーマ

- ✓ 家庭、職場、公共の安全
- ✓ 交通安全
- ✓ 子どもの安全 & 学校の安全
- ✓ 高齢者の安全
- ✓ 暴力・虐待
- ✓ 自殺
- ✓ 自然災害
- ✓ 外傷サーベイランス
- ✓ 科学的根拠に基づく予防活動
- ✓ コミュニティづくり、分野を越えた連携・協働
- ✓ 安全・安心まちづくりと経済的な効果

3.11 東日本大震災の教訓を踏まえ、地震災害等について取り上げます

◆主な参加者

- ✓ 行政関係者
- ✓ 学生・研究者
- ✓ 地域住民・市民組織
- ✓ その他、安全で安心して生活できるまちづくりに関心のある方

セーフコミュニティ (SC) とは？

「ケガや事故は原因を分析することで、予防することができる」という理念のもと、地域の様々な組織・団体、個人が連携・協働しつつ、安全で安心して生活できるまちを目指す取組です。

主な予防対象は、事故やけが、暴力、虐待、自殺、自然災害など、外的な要因による心身への傷害です。

現在、世界で約270のコミュニティがSCとして認証されています。日本でも2008年に亀岡市が認証されて以来その取組が活発になってきています。

第6回アジア地域セーフコミュニティ会議

SC活動の活発化を背景に、世界規模の「世界大会」に加え、アジアやヨーロッパなどのエリアで開催する「地域会議」が開催されています。

アジア地域では、これまでに5回の国際会議が開催されており、今回は日本において開催することになりました。

《お問合せ先》

第6回アジア地域セーフコミュニティ会議
実行委員会 事務局
豊島区政策経営部セーフコミュニティ推進室
Email: info@arcsc2012.com

詳細については、
ウェブサイトをご覧ください



アジア会議開会式 豊島区長あいさつ

皆さん、ようこそ豊島区へ。

私は、この会議の大会長を務めている豊島区長の高野之夫です。

第6回のアジア地域会議を日本の豊島で開催できることを大変光栄に思っています。

昨年3月11日 わが国史上最大の地震が発生しました。東日本大震災では、死者多数、依然として多くの行方不明者も発見されないという極めて深刻な被害をもたらしました。

被災地の復興は少しずつ進んでいますが、いまだに30万を超える人々が、避難生活を余儀なくされています。

この大災害に対して、世界の国々から様々な支援をいただきました。本当にありがとうございました。

こうした大災害に直面し、日本における「第6回アジア地域セーフコミュニティ会議」の開催も、一時は、断念しかけた時期もありました。しかし、この危機を乗り越え、日本でセーフコミュニティ会議を開催することにこそ意義があると考えました。

3日間の会議のなかで、けがの予防と災害対策に向けた知識と経験の交流が繰り広げられ、セーフコミュニティ活動に新たな一歩が刻まれることを心から願っています。

ありがとうございました。